



# 多面的な思考を 楽しみたい

森本 哲郎

最近国立天文台がおこなった調査で、いわゆる天動説（太陽が地球の回りをまわっている）を信じている小学生が4割いることが明らかとなり、「理科教育の崩壊」を危惧する声が高まっているらしい。一見もっともな危惧だが、このことが直ちに小学生における「科学的思考の衰退」を意味するとは思えない。朝太陽が東から上り、夕方西へ沈むことは日常生活で確実に経験できる事実である。この経験から「合理的（すなわち科学的）推論」をおこなえば、「太陽が地球の回りをまわっている」という結論に達するのはごく自然ではないだろうか。地動説（地球が太陽の回りをまわっている）は、生活実感にもとづく合理的推論からは獲得しがたい認識であろう。地動説を受け入れているわれわれの大方も、しかるべき「理論」にもとづく「説明」を素直に受け入れて、なんとなく地動説を「信じている」だけではなからうか。

それでも、素人の実感が何であれ、専門家の間では地動説で完全に合意がある。しかし、社会現象の理解となると、そうはいかない。例えば選挙である。選挙となれば、われわれ有権者はいくつかの政党・候補者の中から選択しなければならない。マスメディアは「政策をよく吟味して投票する政党（候補者）を決めよう」と呼びかける。正論だろう。しかし、である。政策を吟味することはなかなか大変だ。「景気と雇用の回復」を最重点課題と考えて、それを達成するのにもっとも適した経済政策を提示している政党を選ぶとしよう。だが、政策の優

劣評価は素人には難しい。そこで専門家（エコノミスト）の解説を聞かねばならない。しかし、ここで躓いてしまう。専門家がその説明の道具に使っている「理論」に地動説のような「合意」があるわけではない。いくつかの競合する「理論」があり、そこから導かれる政策評価はまず一致しない。小泉・構造改革路線の懐刀、竹中平蔵教授が依拠する経済学理論にすべてのエコノミストが支持を与えているわけではない。だとすると、われわれ素人は、ある「理論」にもとづく経済政策の有効性を「信じる」というしかないであろう。信じるかどうかに影響を与える要因は、「理論」の「もっともらしさ」ではない。どの「理論」も素人目には等しくもっともらしいのだから。投票行動研究の教えるところでは、多くの場合、自分が支持する政党の政策はよく見えるのである。逆ではない。

ここに、社会現象を理解し、それにもとづいて行動する場合の難しさがある。しかし、それでも社会科学の「理論」は必要だ。われわれ人間は社会現象を合理的に「理解」したい存在である。「理解」しないと「行動」できないのである。その「理解」をもたらすのが「理論」による「説明」だと言える。さまざまな「理論」の競合。それは、迷いを与えつつも、われわれの思考を多面的にしてくれる。天下り的に与えられる唯一の「理論」を丸のみせず、諸理論の競演を楽しむ余裕をもちたいと思う。

（法学部教授）

## HEADLINE

- 8面 特集 2004学園祭フォトグラフィ
- 6面 関西四大学学長フォーラムを開催
- 4・5面 特集 進化するe-Learningの展開
- 2面 義援金募集の結果

千里駒  
十牛図とい  
う十枚の絵か  
ら成る禪のテ  
キストがある  
第一の絵が  
は尋牛見  
跡見牛、得  
牛、牧牛と題  
されている。自分が打ち  
込めるものを牛に見立て  
て、それを懸命に探し始  
め、何か手がかりになる  
ものを発見する。ある  
時、ハッとそれが何であ  
るかに気づき、探し求め  
た牛（対象）に取り組み  
始めるが、牛の方は自分  
の思うどおりにならず暴  
れている。しかしついに  
、自分が打ち込む対象  
と一体化できる段階に到  
達する。第六の絵から第  
十の絵は、騎牛帰家忘  
牛存心人牛俱忘  
返本還源、入塵垂手  
と題されている。そこで  
化して悟りを得た人が日  
常生活にもどっていく  
もはや牛は見えず、何に  
打ち込むべきかを納得し  
ただけがよい。さらには  
、人も消えて何のこた  
わりもない状態になり、  
川が流れ花が咲くという  
自然と一体化した自己に  
至る。そのような自己が  
店などが並ぶ町（塵）に  
入り込み、そこで人と出  
会って喜び、自己を探し  
求め、他人のふれあいを  
求める旅は続いていく。  
（廣田 俊郎）



# 白馬池高原ロッジ、六甲山荘のご案内



白馬池高原ロッジ



六甲山荘

白馬池高原ロッジ 高槻キャンパス：高槻キャンパス事務室 月・金曜日 九時～十六時まで  
六甲山荘 自然豊かな六甲山の山頂付近に位置する六甲山荘も随時申し込みを受け付けている。近くには人工キートン植物園などがあり、ゼミ合宿などで大いに利用してもらいたい(申し込み場所、時間は白馬池高原ロッジと同じ)。

今年もよいおスキーシーズンがやってくる。本場のスキーを満喫するには、白馬池高原ロッジ、白馬池高原ロッジは、白馬池高原スキー場の麓に位置しており、ゲレンデまで徒歩数分で、まさにスキーの好適地といえる。ゲレンデは、広大な緩斜面から急斜面まであり、初心者から上級者まで、楽しむことができ、スノーボードも滑走可能となっている。

申し込み方法などは次のとおり。  
受付開始日：十一月および月の利用：十一月一日、二月および三月の利用：十一月六日、申し込み場所・時間：千里山キャンパス：事業課(百周年記念会館内) 白馬池高原ロッジと同じ  
高槻キャンパス：高槻キャンパス事務室 月・金曜日 九時～十六時まで  
および六甲山荘の案内パンフレットは、各学部事務室、高槻キャンパス事務室および学生生活課に備え付けている。受付状況などはホームページを参照してください。

冬季利用申し込み受付中 [http://www.kansai-u.ac.jp/Jigyo/index.htm]

## 本学教育改革について

### 第7回FDフォーラム開催

全学共通教育推進機構では、来る十一月一日(水)十四時から、尚文館マルチメディアAV大教室において第7回FDフォーラムを開催する。FD部門委員会・教養教育委員会共催。これらは主に実践的な授業技術論をテーマとしてきたが、今回は、先般学長から本機構に諮問された事項「教養教育を主とした学部教育改革について」とあり、ひろく意見を求める場として、まず第一に、品川哲彦学長補佐から諮問内容の主旨説明を受

### 平成16年度

### 教職課程 教員養成 フォーラムを開催

教員を志望している学生諸君を対象に、教員採用試験の受験準備に必要な心構えや情報を提供する機会と

大阪府立高校教員・本学教員本年度教員採用試験合格者である。第一部 基調報告・魅力ある教員像  
日時：十一月二十七日(土) 十四時～十六時半  
会場：千里山キャンパス尚文館マルチメディアAV大教室  
第二部 パネルディスカッション「なぜ教員をめざしたか」  
日時：十一月二十七日(土) 十八時～二十時  
会場：千里山キャンパス尚文館マルチメディアAV大教室  
許・資格部門委員会)

## 大学院入試

### 218人が合格

九月に(一〇五)平成十七年度大学院入試を実施した。今回の入試は博士課程前期課程と総合情報学研究所、工学研究科および外国語教育研究科の間に分かれ、九月六日(月)

## 12月2日～4日 院生合同学術研究大会を開催

本年度も大学院七研究科院生協議会による「院生合同学術研究大会」が、十二月二日(水)～四日(土)の日程で開催される。主催は信氏(立命館大学法科大学院教授)による講演「サイバー犯罪をめぐる法と手続」、いづれも本学の今後の教育体制が大きくかわる問題である。教職員、学生間参加し、議論の輪に加わることを期待する。  
(全学共通教育推進機構 柏木 治)

## 学位取得

中澤 務 文学部助教 授/博士(文学) 北海道大学  
「プラトン初期対話論におけるソクラテスの倫理思想」  
学位取得年月日は平成十六年九月二十四日。

## 今年度の司法・公認会計士・公務員 合格速報

今年度、国家公務員一種試験に合格した本学出身者は九人、国家公務員二種試験に合格した本学出身者は六人、公認会計士二次試験の本学合格者は四人、リードセンターで受講した商学部卒業生から合格報告を受けています。国家公務員試験でも健闘

## 公務員講座では「論文・文章理解対策コース」を新設

「公務員講座」では、「国家公務員 行政職コース」を、大阪府や神戸市、大府市など、難関地方上級職への併願をめざす受講生にも対応した「論文・文章理解対策コース」を新設し、最近苦手意識を持つ受講生が多い論文・文章理解に関して



英語講座 TOEFL®で授業効果の向上のため、一日四十五分前後から七十分時間に変更し、天六キャンパスのCAJ教室を利用して変則型Phases Methodを改編し、内容を充実して開講します。

## 退職記念最終講義のお知らせ

学 部	氏 名	月・日・時間	場 所	テ ー マ
文	中山 喜代市	12月9日(木) 2時限目	第1学舎 2号館 B	「スタインベックと私」
商	保田 芳昭	12月17日(金) 4時限目	第2学舎 A503教室	「わが研究の回顧・マーケティング論から温泉問題」



退職記念最終講義の開催は、先生方の定年退職を記念して、おこなわれてきました。先生方の定年退職を記念して、おこなわれてきました。

退職記念最終講義の開催は、先生方の定年退職を記念して、おこなわれてきました。

退職記念最終講義の開催は、先生方の定年退職を記念して、おこなわれてきました。

退職記念最終講義の開催は、先生方の定年退職を記念して、おこなわれてきました。

退職記念最終講義の開催は、先生方の定年退職を記念して、おこなわれてきました。

## 学生諸団体の行事予定

11月26日

1月7日

- アメリカンフットボール部 関西学生アメリカンフットボール秋季リーグ戦 同志社大学 11/28(日) 西京極陸上競技場
- 将棋部 秋期二軍戦 11/28(日)・12/5(日) 同志社大学新町校舎
- 少林寺拳法部 関西学生大会 11/28(日) 関西外国語大学
- 美術部 白鷺会展 11/30(火)～12/6(月) 天王寺大市立美術館
- アイススケート部 第40回近畿府民ショートトラックスピードスケート選手権大会 12/4(土) 大阪プール
- 第15回全日本距離別ショートトラックスピードスケート選手権大会 12/23(木)～12/24(金) 大阪プール
- 第53回関西学生水上競技選手権大会 12/30(木)～12/31(金) やまびこスケートの森アイリンク
- なぎなた部 第4回全日本男子なぎなた選手権大会 12/4(土) 東京武道館
- 選抜部 第88回全日本大学選抜競技大会 12/5(日) 国立オリンピック記念青少年総合センター
- バレーボール部 全日本バレーボール 大学男女選手権大会 12/6(月)～12/12(日) 会場未定
- テニス部 第46回定期演奏会 12/7(火) 吹田メイシアター
- 交響楽団 第56回定期演奏会 12/8(水) 吹田メイシアター
- 混声合唱団ひびき 第38回定期演奏会 12/10(金) 吹田メイシアター
- アイスホッケー部 第53回開定期戦 神戸市立ポートアイランドスポーツセンター
- 能楽部 第36回開大能 12/12(日) 山本能楽堂(谷町四丁目)
- 応援団吹奏楽部 第43回定期演奏会 12/13(月) ザ・シンフォニーホール
- 混声合唱団「響」 第38回定期演奏会 12/14(火) THホール(関大前)
- 書道部 第80回開大書展 12/17(金)～12/19(日) 吹田メイシアター
- ポピュラーミュージック創作研究会 2004定期演奏会 12/18(土) THホール(関大前)
- ボウリング部 早開戦 12/18(土) 早稲田大学
- 応援団チアリーディング部 helios power04 12/19(日) 吹田メイシアター
- 第1部 軽音楽部 第84回 冬の定期演奏会 12/29(水) 梅田 am ホール

# 関西大学の教育への取り組み

## 現代GPに採択された

社会的要請の高い教育テーマに取り組む大学などを選定し、重点的に財政支援する文部科学省の平成16年度現代的教育ニーズ取り組み支援プログラム（いわゆる、現代GP）の部門「テーマ6：ITを活用した実践的遠隔教育(e-Learning)」に、関西大学の標記テーマが採択されました。テーマ6には、国公私立大学の108校が応募し、その中から15校（内、私立大学4校）が、厳正な審査の結果、選ばれました。関西大学の取り組みが選定された理由は、「既に授業支援型e-Learningシステム（CEAS）が稼働しており、それを活用している授業科目も多いなど実績を上げています。本取組は集合教育における予習・授業・復習のサイクルをe-Learningにより個別に支援することにより教育の質を高めるもので高く評価されます。特に、

### (1) 取り組みの概要

a) 取り組みの目的  
本取組の目的は、対面集合型の正課教育を対象に、高等教育が今日直面している諸課題を授業支援型e-Learningシステム「Web-Based Coordinated Education Activation System」(以下、「CEAS（シーズ）」と称する)の積極的活用による教育実践を通して解決でき、多くの大学で利用可能な汎用教育支援モデルを構築することにある。また、本取組には学習コンテンツと教育方法(優れた教育方法を「コース経営パターン」と名付ける)を継続的に提供/更新する仕組みが組み込まれ、ITを活用した個別学習や遠隔教育の実践に役立てることが可能である。

b) 取り組みの内容  
本取組の構造を図1に示す。これは、大別して2つの要素からなる。関西大学での正課教育にCEASを積極的に活用し、これまで十分に機能してきたとは言い難い「授業と学習(予習・復習)のサイクル」を有機的に形成する仕組みを構築する。これによって、高等教育が直面している学力の低下や入試の多様化に伴う諸問題を解決し、授業の改善や社会の要求に応える。(ア)正課教育を対象とした取り組みを実践する過程でCEAS上に大量に蓄積される教材など(「授業コンテンツ」と呼ぶ)の中から適切なものを選び、インストラクショナル

図1 本取組の構造

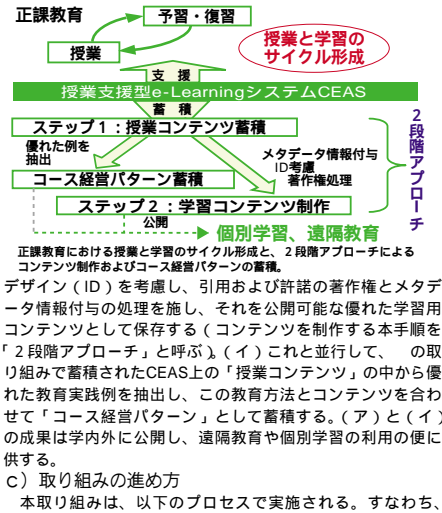
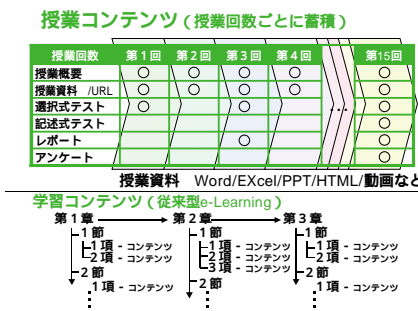


図2 授業コンテンツと学習コンテンツの比較



CEASを正課教育で既に利用している工学部では、平成16年度はその利用の拡大と促進を図る。また、他学部では、全学的な取り組みとしての支援サービスを開始し、の取り組みを推進する。平成17年度は、の取り組みを進めながら、の取り組みに着手し、その試行を開始する。平成18年度およびそれ以降は、とを並行して実施し、その内容を継続的に充実する。

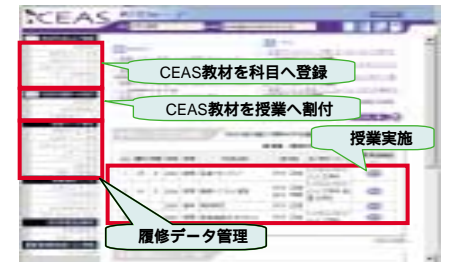
d) 取り組みの特徴  
本取組で展開するコンテンツ制作が従来と異なる点は

制作活動に2段階アプローチを採用したことにある。すなわち、第1段階では、正課教育の実践過程で作られる「授業コンテンツ」を積極的に収集する。その後、第2段階でそれらの中から優れたものを抽出し、授業担当者やIDの専門家が協働して公開用学習コンテンツに仕上げる(図2に授業コンテンツの構成を従来の学習コンテンツと対比して示す)。本方法の特徴は、第1段階で作成される「授業コンテンツ」が科目履修者のみに公開されるため、引用に関する著作権の問題が従来の教育実践の場合と同様で、教員が気軽にコンテンツ作成に参画できる点にある。かつ、継続的に蓄積される「授業コンテンツ」の中から多様な分野のそれぞれで優れたものを学習コンテンツに選定できる点にある。それゆえ、本取組を継続すれば、優れたコンテンツが比較的容易に蓄積される。さらに、コンテンツのみならず、教育方法に関する優れた実践例が「コース経営パターン」としてコンテンツと合わせて広く学内外に公開されるので、教育の実践段階での質的向上とFDの推進に役立つ。

### (2) CEASの特徴

本取組の教育実践の中でIT活用のツールとして使われるCEASは、関西大学工学部システムマネジメント工学科冬木研究室が企業と共同で開発したものである。CEASには、従来のWeb型e-Learningシステムが保有する機能に加えて、対面授業での出席管理機能や小テスト実施機能、学期末の成績評価支援機能、科目単位の教材一括ダウンロード/アップロード機能など、授業支援や多人数クラスでの成績評価に必要な機能が担任者の使い勝手を重視してバランスよく配置されている。図3は、CEASの担当者Topページを示す。教材の科目への登録から履修データ管理までの一連の手続きをサポートする機能選択メニューが画面の左側に配置されている。担任者は、これらの機能を用いて、授業(講義・演習)の前に資料を登録し、予習課題を掲載する。授業中の資料提示、あるいはPC教室での授業では出席確認や小テストが実施できる。レポート課題などの復習課題を登録した場合には、CEASに送られてきた提出物の評価ができる。PCが使えない授業環境の場合には、CEASの利用による教育が提供できる。CEASにはグループ学習を支援する機能もあるので、少人数からなるグループ単位によるプロジェクト学習にも効果的である。一方、学生は自宅からインターネット接続すれば、CEASを用い

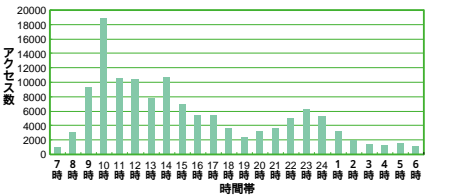
図3 CEASの担当者Topページ



左側の機能選択メニューには、授業資料、選択式テスト作成、記述式テスト作成、レポート課題作成、アンケート作成、教材割付、科目環境設定、科目独自のページ、選択式テストなどのデータ管理と出席管理、連絡一覧評価表、さらにそれらの下に「履修補助ツール」、「自発学習促進管理」、「履修環境管理」からの情報などのツールメニューが表示されている。

て予習・復習ができる。このようにCEASを利用することで図1の上部に示した「授業と学習のサイクル形成」が実現できる。工学部のオープンデザイン教室のCEAS用サーバには、工学部の教員(183人)と学生(5,341人)ならびに開講科目(昨年度と今年度合わせて約4,000科目)および学生の履修登録データが格納されている。平成16年度は教員・学生の約1/4(教員49人、学生1,432人)が利用している。平成15年9月から平成16年7月までのCEASへの時間帯別アクセス数の分布統計によれば(図4)、9時から18時までの授業と学習が共存する時間帯と19時から2時頃までの学習時間帯の2カ所にアクセスのピークが現れ、授業と学習のサイクルがうまく形成されていることがわかる。

図4 時間帯別アクセス分布(累計)



# 進化するe-Learningの展開

## ～授業と学習の統合的支援 および教授法と学習コンテンツの共有化～

事業推進責任者 冬木 正彦 (工学部教授)

### (3) 関西大学の取り組み

a) 全学的支援組織の構築  
本取組の初年度(平成16年度)の後期からは、ITセンターにCEAS用サーバを設置し、他学部の教育支援のためのサービスを開始する。これに備えるため、他学部の全科目と全学生の教務データをサーバに登録するが、これは工学部での実績をもとに実施する。さらに、CEASの他大学への配布や導入・運用支援を行っている「CEAS Community Page」は、関西大学重点領域研究課題の研究分担者を核に本学研究プロジェクトユニット規程に基づく「CEAS研究プロジェクトユニット」によって引き継がれ運用される。

平成17年度以降は、図5に示すようなITを活用する教育支援機能を教育支援センター(構想中)に順次移行し、組織の再編・集約・強化を図る。ただし、CEASの機能強化も含めた設計教育支援などの教育方法を工学部で開発するため、工学部対象のCEAS用サーバはOD教室に設置し、その運用を工学部情報化推進委員会が担う。また、研究的側面を有する

図5 支援組織とその移行

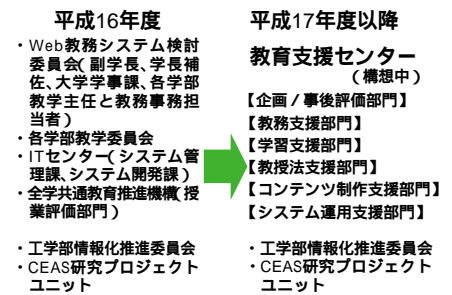
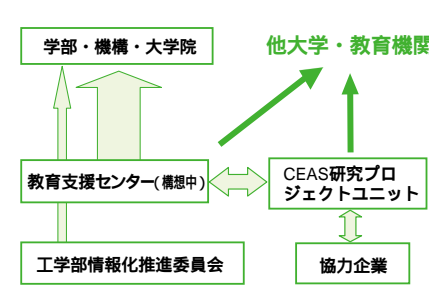


図6 本取組で実現する組織とその関係



SCORM規格バージョンアップへの対応や共同研究企業との連携および学外教育機関のCEAS利用のWebサイトによる支援はCEAS研究プロジェクトユニットが行う。

b) 教育支援センター  
教育支援センターに設けられる各部門のうち、教務支援部門では、従来の履修データの管理に加えて、CEASの運用を支援する「履修環境管理」の役割を果たす。入学前の導入教育は各学部が主宰するが、そのための科目や高校生の登録などはこの部門が支援する。教授法支援部門では、教員に対してITを活用する教育実践の支援や教育方法に関するアドバイスを行う。「授業コンテンツ」の中から優れた教育方法を抽出し、「コース経営パターン」として登録・公開するものこの部門の役割である。コンテンツ制作支援部門は、授業コンテンツから公開できる学習コンテンツへの変換支援が役割である。オーストラリアンツールを用いて行うメタデータ情報付与やIDを考慮することが必須であるが、この支援には総合情報学部所属の教育工学の専門家に協力を仰ぐ。著作権の処理に関しては、法学部の専門家の協力を求め、ガイドラインを作成する。また、ビデオ教材を組合せたコンテンツ作成も支援する。さらに、SCORM規格のコンテンツをCEASで利用可能にする

ためのCEAS3.0へのバージョンアップとその開発は、企画/事後評価部門とCEAS研究プロジェクトユニットおよび共同研究企業が連携して行う。CEAS研究プロジェクトユニットには、CEASの開発・運用の経験を有する大学院生も加える。ちなみに、共同研究企業は、現在までCEASの開発や工学部での運用・支援経験のある企業である。

関西大学では、学生による授業評価アンケートが平成14年から開始された。その実施と結果の分析が全学共通教育推進機構/授業評価部門委員会となされているが、平成17年度以降は授業評価部門委員会と教育支援センターの企画/事後評価部門や教授法支援部門と密接に協力し、教員へのフィードバックを迅速かつ効果的に実施する。

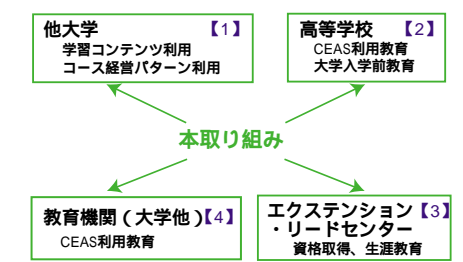
図6に本取組の結果として実現される組織間の関係を示す。

### (4) 教育の社会的効果等

本取組には、図7に示すように、他大学・工業高等専門学校や中等教育機関への積極的な働きかけと協働の仕組みが組み込まれている。

第1は、学習コンテンツと「コース経営パターン」の公開である。コンテンツ制作における2段階アプローチの第2ステップで制作される学習コンテンツの公開には、著作権の処理と文部科学省への利用許諾が前提である。本取組の成果として、継続的に生み出される学習コンテンツは、第1ステップでの正課教育の実践に基づき、そこから選ばれる教材である。それゆえ、教材としては実践的かつ質の高いものになることが期待される。さらに、教材のみならず、教育実践例の蓄積の中から優れた例として抽出する「コース経営パターン」も公開する。これらの成果物の公開にあたっては、著作権を考慮する必要があるが、不特定多数を対象に公開する部分と特定者に限定して公開する部分を区別して運用する必要があり、公開サービスは、公開用に設置する専用のCEAS用サーバで行うが、ユーザがコンテンツやパターンの参照範囲を柔軟に切り替えられる機能は、現システムにはない。それゆえ、コンテンツコース経営パターン公開用の機能モジュールは本取組の中で開発され、サービスに供される。本

図7 本取組の社会的効果



取組で提供される学習コンテンツと「コース経営パターン」に遠隔教育実施基盤の情報システムを組み合わせれば、質の高い遠隔教育が実施できるものと期待される。

第2は、入学前教育の推進である。平成16年度推薦入学者に対して文学部総合人文科学教育専修コースがCEASを用いて実施した入学前教育は、CEASのレポート課題提出機能と電子掲示板およびチャット機能を利用して特定課題に関する学習を各高等学校の協力のもとに実施したものである。この入

学前教育の実施を本取組の中で段階的に全学に拡大する。さらに、生徒の利用に啓蒙され、学校教育の支援にCEASの導入を希望する高等学校には、CEASソフトウェアを提供し、導入・運用を「CEAS Community Page」のWebサイトによって支援する。

公開用学習コンテンツの蓄積が充実すれば、入学前教育に必要な教材をその中から選定し、入学を希望する生徒に対して遠隔教育が実施できる。対象となる教材は、入学後の学生には補習用個別学習教材として利用できる。

第3は、本取組によって制作される学習コンテンツの利用法として、各種資格取得のための付加教育ならびに生涯教育が考えられる。たとえば、簿記教育用、公務員試験対策用、英検教育、実用英語、情報処理技術者資格試験用などの教材である。これらは、関西大学エクステンション・リード

センターが主体となって、遠隔教育も含めた教育サービス事業の一環として実施できる。

第4は、教育機関での非営利目的の利用を対象としたCEASソフトウェアの無償配布と、Webサイト「CEAS Community Page」からの導入・運用支援である。平成15年9月から始めたCEASの教育関係機関への配布先は84大学(104学科・部署)3工業高等専門学校、1高等学校、1中学校、3専門学校で、現在も継続的に入手の要望がWebサイトを通して寄せられている。今後、本Webサイトの運営をCEAS研究プロジェクトユニットに移し、関西大学として導入・運用支援を継続し、かつ学会などでの講演や実践報告イベントを積極的に展開することで国内の教育機関への普及と本格的な利用の啓蒙が図られる。

以上の4つの仕組みが本取組に取り入れられているので、取り組みの活動を継続・推進することで具体的な社会貢献がなされる。

### (5) 取り組みの評価体制

学生による授業評価は、これまで全学共通教育推進機構/授業評価部門委員会のもとに紙ベースによる「学生による授業評価アンケート」で行われてきた。

平成17年度以降のできるだけ早い時期から、本取組で実施されるCEASを利用した教育も含め、全学部の講義・外国語・体育実技科目(約7,000科目)を対象に、「学生による授業評価アンケート」をCEASが保有するアンケート機能を活用して実施する。この場合、CEASの優れた機能が活用できるので、従来に比べて、アンケート結果の集計・分析・評価が迅速に行える。その結果は、Webシラバスシステムを介して公開し、大学教育の社会への説明責任を果たす。同時に、教員には授業改善に資するデータを提供する。さらに、学生は、個人の成績を平成16年度春学期からWeb履修登録システムを介して受け取り、次年度の科目履修の一助としている。なお、学生による授業評価は平成17年度以降も継続して行われ、今後は全学共通教育推進機構/授業評価部門委員会と教育支援センターの企画/事後評価部門が協働して実施する。

# 関西四大学

## 学長フォーラムを開催

関西大学 関西学院大学 同志社大学 立命館大学の学長が東京に集り、十一月十三日(土)、よみうりホール(東京・有楽町)において、今、私立大学にできること、関西からの提言」といテーマのもと、関西四大学学長フォーラムを開催した。



写真提供：読売新聞社

今回の企画は、関西の四私立大学が共同事業を行うことにより、関西からの情報発信効果を高め、四大学それぞれの気風・伝統・個性を生かし、関西に内在しているパワーを表面化し引き上げていくことを目的として開催したものである。

当日は、映画監督の大森一樹氏による「私が関西で過ごした学生時代」、評論家の大宅映子氏による「日本を元気にするのは誰か」という基調講演が行われ、その後、河田梯一学長、八木一夫関西学院大学学長、平松田英同志社大学学長、長

## 記念式典や国際シンポジウム

### 太田大阪府知事も講演

経済学部では、学部創設百周年記念として十月十三日(土)に記念式典ならびにE・M(中小企業)国際シンポジウムと講演会を開催した。午前中に百周年記念会館特別会議室で開催された国際シンポジウムはE・M統合の今後の

△では、鶴岡北大学の崔龍浩氏がアジア経済統合に向けた動きのなかで韓国中

△では、鶴岡北大学の崔龍浩氏がアジア経済統合に向けた動きのなかで韓国中



講演する太田房江・大阪府知事

講演する太田房江・大阪府知事

△では、鶴岡北大学の崔龍浩氏がアジア経済統合に向けた動きのなかで韓国中

## 8割、何らかの内定

### 中堅企業なお募集活動



今年度は金融業界、特に大手都銀や保険業をはじめ、中国特需によって好況な鉄鋼関連業やIT関連業がこれ以上

今年度は金融業界、特に大手都銀や保険業をはじめ、中国特需によって好況な鉄鋼関連業やIT関連業がこれ以上

### 16年度就職情報

採用先手控える企業も増加

採用先手控える企業も増加

## 父母対象の就職説明懇談会

### 800人が参加、個人面談も

十月三日(日)十三時開演

講義終了後は学部の懇談会に移り、各学部行部

## 無料法律相談実施中

関西大学法科大学院で

無料法律相談実施中

## 法科大学院

### 中之島センターで

関西大学法科大学院で

中之島センターで

## 受賞

可視化情報学会

受賞

### 秋学期公開授業

月日	時間	テーマ
11月26日(金)	13:00-14:30	「楽しくジョギングをしよう」 青木 穂之介 教授
12月7日(火)	13:00-14:30	「軽快に、軽やかにリズム体操を楽しもう」 田村 典子 教授
12月8日(水)	10:40-12:10	「今日からあなたも護身術」 緒古 哲夫 教授
12月9日(木)	10:40-12:10	「ニュースポーツで健康に！」 聖本 盛行 講師
12月9日(木)	13:00-14:30	「太極拳と氣功で健康づくり」 劉 莉 講師
12月10日(金)	10:40-12:10	「元気なひとと！ふれあい広場」 こころとからだの 時森美智子 講師

運動のできる服装でご参加ください。体育館・ユース・タオロム・ご持参ください。場所：千里山キャンパス中央体育館(阪急電車「大前駅」下車徒歩十分)お問い合わせ：文学部身体運動文化専修・体育学教室



文学部身体運動文化専修の授業を開講しています。体育学教室では、左記の多くの方々の参加をお待ちしています。公開授業は、地域住民と「大学」とを結ぶ架け橋です。無料で、リフレッシュしましょう。だれでも気軽に楽しく、よめくお楽しみください。

### 平成16年度

## 体育会覇業披露式

水上競技部 山田沙知子さんなどが表彰  
女子サッカー 下小鶴 綾さん



写真提供：関大スポーツ

平成16年度体育会覇業披露式が、学園祭期間中の十一月一日(月)十時から中央体育館メインアリーナにて盛大に執り行われた。体育会覇業披露式は、体育会各部の試合において、優れた戦績を収めた者や団体を表彰し、体育会全体の士気を高めることを目的としている。今年度は、特にアテネオリンピック競泳女子四百メートル自由形で六位、世界短水路選手権八百メートル自由形で優勝などの実績を称え、水上競技部の山田沙知子さん(文四)に、学長杯が授与された。また、日本リーグ女子サッカー日本代表の下小鶴綾さんにも学長杯が授与された。その他、計十五の団体および個人が表彰された。(スポーツ振興課)

### 一般の方も奮ってご参加ください

于504 8 6 0 吹田市山手町三丁目一三五  
06 6 3 6 8 1 1 4 4  
後援：吹田市教育委員会

### 今年のフィールドワークは

学生部では、昭和六十二年から課外教育プログラムの一環としてフィールドワークを開催しており、今年も十一月十五日(水)に実施する運びとなった。従来の「フィールドワーク」においては、人権問題に関する取り組みのひとつとして被差別部落の実態を見学するものだったが、今年はいよいよ

### 秋学期 交換・DD受入留学生 歓迎会開催



九月二十日(水)高層記念会館において、本年九月に来日した交換受入留学生とDD(デュアル・ディグリー)プログラム受入留学生の歓迎会を実施した。とりわけ、ウエブスター大学のDD留学生は第一期の受入生であり、二年間本学特別授業受講生として文学部に在籍し、教員士号取得をめざす。今回来日したのは、東北大学一人、復旦大学一人、

また、春学期から既に漢陽大学校二人、ゲッティンゲン大学一人、アデレード大学一人、オーストラリア国立大学一人の計五人を受け入れたため、交換・DD受入留学生は合計二十七人となった。本歓迎会は安部誠治国際交流センター所長の歓迎の挨拶をはじめ、留学生代表の挨拶、各留学生の紹介などがあり、今年度から募集した留学生のためのポスターコンテストや秀麗寮のルームメイトも同席し、盛況裏に終了した。(国際交流センター事務局)

### 盲導犬総合訓練センター訪問

視覚障害に伴う問題や障害をもつ人びとが直面している状況、その人びとを支援する盲導犬事業について理解を深めるために、京都府亀岡市にある盲導犬総合訓練センターを訪問する。なお参加希望者は千里山キャンパスは学生生活課、高槻キャンパスは学生生活課へ必ず参加申し込み(いずれも参加費は無料)を(学生部) 12月8日

### 今後とも力強いご支援ご協力を

平成十四年一月から創立百二十周年記念事業の募金の活動を開始し、既に年々活動が活発化している。この間、①平成十五年三月に法科大学院棟の建設、②平成十六年一月にキャンパス・エントランスの整備、③九月にシネマ・技術教育用インテリジェント施設の建設が完了し、更に、④スポーツ振興基金の充実に取り組んできた。現在、総合学生文化センターの建築工事が始まっている。毎日新聞社と共催で公開シンポジウム「紀伊山地の文化」を開催した。また、E.T時代への対応と関係各位の力強いご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。⑤来年度さらに充実した情報教育施設の増築、⑥

### 東京に大きな柱が



首都圏に1万3000人、関西大学を卒業して、首都圏の東京、神奈川、千葉、埼玉、栃木に在任の校友は約1万3000人いる。さぞ東京出身の在学学生も多いのではと思われるが、これが案に相違して東京74、神奈川40、千葉50、埼玉44、栃木13、合計しても221人しかいないのである。1学年にすると、55人に過ぎない。今年、2月から8月の就職活動期間に東京センターを利用した学生はその10倍、550人であった。うち2割はリピーターだったので、実際は400人強だと思われるが、東京をめざす学生は決して少なくはない。今年の就職状況は上向きとは言え、個人にとつての厳しさに変わりはない。まして、東京にその主戦場を設定するとともに学力が、体力そして金力(？)までもが必要となる。少しでも学生諸君の就職活動の手助けを頑張ったが、その中で気づいたことがあった。学生と先輩とのつながりが意外に希薄だということである。校友との連携を残念ながら、首都圏における関西大学の知名度は、必ずしも高くない。本学の学生の8割は近畿圏出身



者という背景があるにしても、早急に取り組みなければならぬ課題のひとつであることに違いない。そこで冒頭に述べた1万3000校友との連携を強め、そのパワーを生かして知名度を高めるべく校友経済人の主だった人達と何度も話し合いを重ねてきた。そしてこの秋「関西大学東京経済人倶楽部」の発足が確定した。会員は、上場企業などの取締役や部長に政界、文化人など300人余。その発足は各界に少なからぬ影響をもつことが期待される。経済、政治、教育そしてあらゆる情報の中核である東京で、本学の卒業生による強力な組織が生まれることは、関西大学にとつても学生にとつても、いや、校友自身にとつても大きな財産となるに違いない。先が見えにくく、これが絶対というものが見えにくくなった現代において、関大という一本の太い絆で結ばれ、生み出される何ものかに、期待する。東京センター長 石山 博康

### 新刊の扉

『連納納税会計論』(十月十日、関西大学出版部) 定価三千九百九十円(税込)  
『商業部、よくわかる現代経営』(十月十日、現代経営) 定価二千五百円(税込)  
『文学部教授 松浦 章著』(十月十日、現代経営) 定価二千八百五十円(税込)  
『商業部助教授 矢田勝俊著』(二月二十八日、多賀出版) 定価四千八百三十円(税込)  
『商業部助教授 松浦 章著』(十月十日、現代経営) 定価二千八百五十円(税込)

関大通信 第321号

平成16年(2004年)11月26日  
大阪府吹田市山手町3 3 35  
http://www.kansai-u.ac.jp/  
次号は1月8日発行の予定です

# 2004 学園祭

## フォトグラフィティ

統一学園祭  
10/31(日)~11/3(祝)  
千夜祭  
10/30(土)~11/1(月)  
撮影：第1部文化会写真部



### 今月の表紙



森本哲郎(もりもり・つとむ)教授  
政治学専攻「政党組織と政党システム」を中心としたテキストを執筆中。最近の著書として「ポリティカル・サイエンス事始め(新版)」。大都市圏における選挙「政党政策」いずれも共著がある。



### 編集後記

秋が深まり、学園祭の季節である。今年も盛況であった。学園祭の間にはもちろん学外の方も多く訪れる。学園祭に限らず、関西大学は多くの機会を設け、学外の方の積極的な参加を得て、地域の開かれた研究教育機関としての役割を果たしている。専門会はもちろんのこと、市民講座や公開講座などの活動を行っている。

このような催しが、本学の教職員や学生に刺激となるのはいいまでもない。だが、日々、例えば犬の散歩で学内を散策する方々などとしたコミュニケーションも、関西大学の風景を豊かにしている。社会に開かれた大学とは、そのよなちやうとしたコミュニケーションをも排除しない、現実根ざした豊かさの上に築かれているのだらう。

(関口理久子)